

阿賀町豊実を会場に「第3回奥阿賀国際アートフェスタ」が開かれている。新たにオープンした「縄文アートミュージアム」では、縄文土器・土偶などから着想したアート作品などが展示されており、来場者の目を楽しませている。

NPO法人コスモ夢舞台が主催。過去2回は自然の中で、廃材を使った作品を展示してきた。今回、理事長で石彫刻家の佐藤賢太郎さん(72)が独自に解釈した縄文をテーマに、ミュージアムで土器・土偶のレプリカや破片を使った作品を飾る。フェスタ会場一部は整備中で、今月中旬に自身の作品「ストーンサークル」を設置する。

5月30日の開幕には新潟市などから約30人が訪れた。新潟市中央区の神田直美さんは「縄文時代は教科書で覚えた程度だったが、作品を見て宇宙を感じたり、不思議な気持ちになったりした」と話した。

アート驚く縄文の営み 阿賀・豊実で国際フェスタ

縄文をテーマにした作品などが展示されている「第3回奥阿賀国際アートフェスタ」 阿賀町豊実



計画ではストーンサークル 発信したい」と佐藤さん。「縄のほか、竪穴式住居も作る。文村」づくりに意欲を見せどが発掘されている。「縄文 フェスタは27日まで。ミュージアムのみ入場料300円。問い合わせは佐藤さん、090(7639)8723。